

静岡県子どもの生活アンケート調査について

(静岡県健康福祉部こども未来局こども家庭課)

1 概要

本県のこどもの貧困対策として関連する各分野における支援の在り方等を検討するに当たり、こどもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行い、今後の基礎資料として活用するため、実態調査を行った。

2 調査の内容

調査対象	県内の小学5年生、中学2年生、高校2年生、特別支援学校生 計6,999人、 その保護者6,999人 計 13,998人	
調査方法	静岡県内の学校にて案内するWEB調査	
調査期間	令和6年7月19日～令和6年8月27日	
調査項目	子ども	あなたの健康のことについて、ふだんの生活のことについて、学校や勉強のことについて、ふだん感じていること
	保護者	ご家族について、世帯の経済的な状況について、子どもとの関わり、習慣について、子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて、各種支援・サービスについて
回収状況(回収率)	子ども 2,442件(34.9%) 保護者 1,315件(18.8%)	

3 調査結果

- ・貧困世帯の子どもは、「朝食」「学校が休みの日の昼食」「夕食」のいずれも、食べないことがある割合が高く、また、食卓に親がいる割合が少ない。
- ・貧困世帯の子どもは、貧困に相当しない世帯と比べて、学校の勉強が「いつもわかる」割合が低く、進学希望を「高校まで」とする回答の割合が高い。
- ・貧困世帯の保護者は、現在の暮らしの状況を「大変苦しい」と感じている者が多い。一方、保護者が子どもの頃の暮らしの状況を「大変苦しかった」と感じていた割合は、貧困世帯と貧困に相当しない世帯で、差はあまり見られなかった。
- ・貧困世帯では、必要な服が買えなかったことがある割合が約3割、生活費不足による借金の経験がある割合が2割以上あった。

○子どもの調査結果

調査項目	回答内容	回答割合 (%)		
		貧困世帯	非貧困世帯	
健康・生活のこと	朝食について	毎日食べる	72.5%	80.8%
	学校が休みの日の昼食について	いつも食べる	80.0%	92.4%
	夕食について	毎日食べる	87.5%	96.8%
	朝食について	親と食べる	47.5%	60.7%
	学校が休みの日の昼食について	家族(親がいる)と食べる	65.0%	82.4%
	夕食について	親と食べる	89.5%	92.3%
学校や勉強のこと	勉強の理解度	いつもわかる	10.0%	19.4%
	進学希望	高校まで	35.0%	17.4%

○保護者の調査結果

調査項目		回答内容	回答割合 (%)	
			貧困世帯	非貧困世帯
経済的な状況	現在の暮らしの状況	大変苦しい	31.8%	10.6%
	子どもの頃の暮らしの状況	大変苦しかった	6.4%	6.6%
子どもを取り巻く環境・子育ての悩み	経済的困窮の経験	必要な服が買えなかった	28.2%	7.7%
	経済的困窮の経験	生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	22.7%	8.2%

※貧困世帯と非貧困世帯の区分方法

令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省）分析結果の貧困線を参考に、貧困世帯と非貧困世帯を区分。

<世帯人数ごとの貧困層となる区分>

世帯人数 (問2-1)	国調査における貧困線	貧困層となる区分	問11												
			1~2	3~4	5	6	7	8	9~11	12~14	15~17	18~20	21	22	
			100万円未満	100万円~200万円未満	200万円~225万円未満	225万円~275万円未満	275万円~325万円未満	325万円~375万円未満	375万円~475万円未満	475万円~625万円未満	625万円~775万円未満	775万円~925万円未満	925万円以上	わからない	無回答
			50	150	225	275	325	375	475	625	775	925			
2人	180万円	200万円未満	■												
3人	220万円	200万円未満	■	■											
4人	254万円	250万円未満	■	■	■										
5人	284万円	300万円未満	■	■	■	■									
6人	311万円	300万円未満	■	■	■	■	■								
7人	336万円	350万円未満	■	■	■	■	■	■							
8人以上	360万円	350万円未満	■	■	■	■	■	■	■						
無回答															

貧困層 (貧困層に相当する世帯)
 非貧困層 (貧困層に相当しない世帯)